

# 京都府の文化事業に係る 企業版ふるさと納税の活用について

2023年12月20日

京都府 文化生活部  
文化芸術課長 大石 正子

# 企業版ふるさと納税の活用経緯

# 京都府の企業版ふるさと納税の実績（令和4年度）

【全国順位 5位】（都道府県のみ）

## 【京都府の分野別順位】

### 1 文化芸術

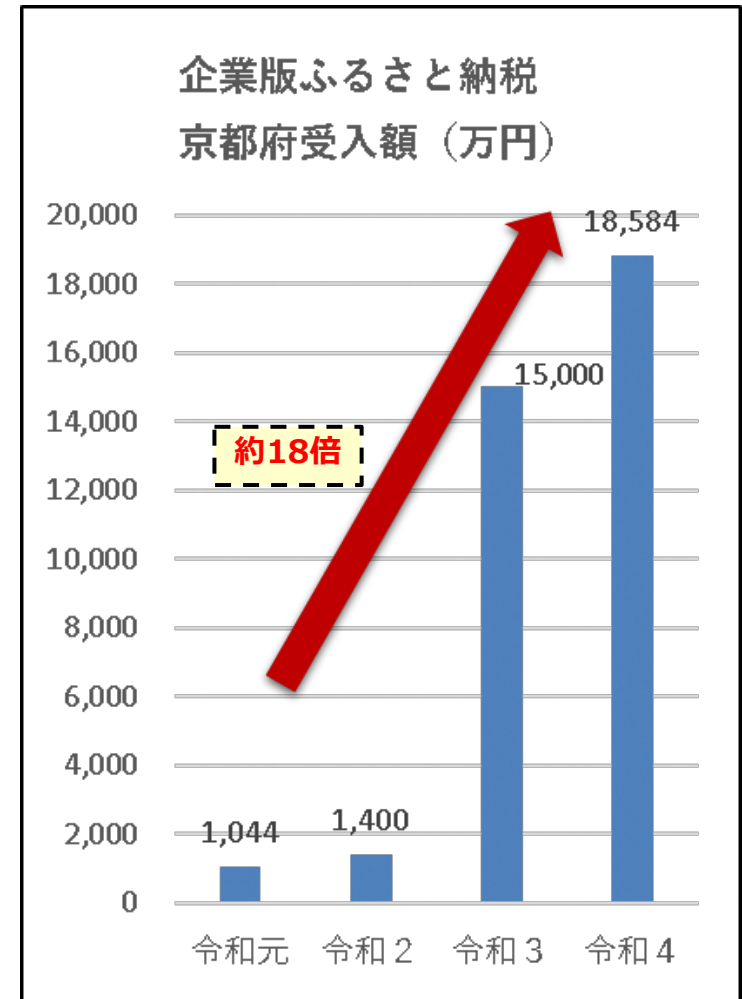
- ①文化財の保護・修復
- ②ARTIST'FAIR KYOTO (AFK)
- ③Art Collaborationn Kyoto (ACK)

### 2 eスポーツ

サンガスタジアムを活用した  
ゲーム大会 等

### 3 子育て

子育てにやさしいまちづくり事業 等



# 京都府の文化事業における寄附の経緯

## ①文化財の保護・修復

- ・ 2008年度に「文化財を守り伝える京都府基金」設置
- ・ **ふるさと納税制度**を活用して、文化財保護に用途を限定
- ・ 寄附特典は「京都文化体験」に特化  
(例) 葵祭特別観覧招待、祇園祭山鉾搭乗体験招待 など



## ②ARTIST'FAIR KYOTO (AFK)

- ・ 2017年度から実施
- ・ 若手アーティスト自らが企画・運営・出品を行うアートフェア
- ・ 京都の企業を中心に**協賛**を募っていたが、**企業版ふるさと納税**が制定以降、寄附を募る



## ③Art Collaborationn Kyoto (ACK)

- ・ 2021年度から実施
- ・ 現代アートをテーマにした国際アートフェア
- ・ **企業版ふるさと納税**を中心に寄附を募る



# 京都府総合計画の考え方

# 文化庁の京都移転と「文化と経済」

- 2015年 3月 「まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」  
(2014年12月閣議決定)を受け、  
「政府関係機関の地方移転」の提案募集
- 8月 京都からの提案提出
- 2016年 3月 文化庁の京都移転が決定  
「政府関係機関移転基本方針」  
(まち・ひと・しごと創生本部決定)
- 2017年 6月 「文化芸術振興基本法の一部を改正する法律」施行  
文化芸術振興基本法 ⇒ 文化芸術基本法 へ
- 12月 「文化経済戦略」が内閣官房・文化庁連名で策定

## 【文化経済戦略とは】

- ・国・地方自治体・企業・個人が文化への戦略的投資を拡大
- ・文化を起点に産業等他分野と連携した創造的活動によって新たな価値を創出
- ・その新たな価値が文化に再投資され持続的な発展に繋がる好循環を構築

# 京都府総合計画【2019年度～2023年度】

- 府政運営の羅針盤となる新しい総合計画について、**令和元年10月2日に策定。**
- 「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」によって構成。**京都府のめざす方向性を明らかにし、府民と一体となって行政運営を推進。**
- 策定に当たり6回にわたる懇話会や、府民意見交換会、パブリックコメントを実施。

## 将来構想

**概ね20年後**の令和22（2040）年に実現したい**京都府の将来像**を描いた構想

## 基本計画

### 分野別基本施策

20の分野別に、現状分析・課題、4年間の対応方向・具体方策、数値目標を体系的に明示

### 府民協働で取り組む きょうとチャレンジ

（子育て、躍動、文化、  
産業、安心・安全）

府民の皆さまや地域・企業等と連携し、横断的に取り組む5つのチャレンジ

## エリア構想

地域に着目した5つの構想

## 地域振興計画

**山城・南丹・中丹・丹後**の広域振興局ごとに各地域の資源や特性を踏まえ、**概ね4年間の取組**を示した計画

# 将来構想

・概ね20年後の2040年に実現したい京都府の将来像を描いた構想

～一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして～

## (1) 人とコミュニティを大切にする共生の京都府

一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、全ての人が地域で「守られている」「包み込まれている」と感じ、誰もが持つ能力を発揮し、参画することのできる社会づくりをめざします。



## (2) 文化の力で新たな価値を創造する京都府

地域の文化を継承・発展させ、住む人、訪れる人など全ての人を惹きつけ、文化が、あらゆる分野と融合し、京都流の新たな価値を創造し、発信し続ける社会づくりをめざします。



## (3) 豊かな産業を守り創造する京都府

大学や多様な企業、研究機関の集積を生かし、新たな技術開発やその活用で、イノベーションを起こし、キラリと光り輝く企業が府内のあらゆる地域に立地している社会づくりをめざします。



## (4) 環境にやさしく安心・安全な京都府

気候変動に適応し、「脱炭素」で環境にやさしい社会を実現するとともに、災害だけでなく、犯罪等からの安心・安全、そして全ての地域が地域資源を生かした豊かさを実現できる地域づくりをめざします。





# 府民協働で取り組むきょうとチャレンジ

- ・府民、地域、企業、団体など全ての方々と協働して、京都府の未来づくりに取り組む5つのプロジェクト

## 「子育て環境日本一」 きょうとチャレンジ

2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざし、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し「子育て」の視点から社会を変革します。

- 地域子育て充実度見える化システム
- 子育て環境日本一に向けた「職場づくり行動」運動

## 「府民躍動」 きょうとチャレンジ

人生100年時代を見据え、府民の誰もが生きがいを感じることのできる共生社会づくりを進めます。

- 生涯現役クリエイティブセンター（仮称）
- スポーツのメッカづくりプロジェクト

## 「文化創造」 きょうとチャレンジ

地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会づくりを、文化庁が本格移転する京都から進めます。

- 京都国際アートフェア**
- 文化財保存・活用プロジェクト
- 障害者アート創造・発信プロジェクト

## 「新産業創造・成長」 きょうとチャレンジ

企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起こり続ける最適な事業環境の創造を京都から進めます。

- 起業するなら京都・プロジェクト
- オール京都「高度人材育成プログラム」

## 「災害・犯罪等からの安心・安全」 きょうとチャレンジ

災害や犯罪等から府民の命と財産を守るため、AI等の活用によりハード・ソフト一体となった最先端の危機管理・安心安全体制を構築します。

- 危機管理センター設置等、防災対応力強化
- AI活用「犯罪防御システム」

# Art Collaboration Kyoto (ACK)

## ◆設置目的

京都において、国内外の最先端の現代美術をテーマに、  
**民間と行政の協働により**、国内のアート市場の活性化と  
国際市場における評価の向上を目指す

## ◆主催者：ACK実行委員会

民間と行政の協働による運営体制

## 構成団体

京都府

(一社) 日本現代美術商協会 (CADAN)

(一社) 日本現代美術振興協会 (APCA)

(一財) カルチャー・ヴィジョン・ジャパン (CVJ)

京都商工会議所 (京商)

(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー (KCB)

# ACKの運営体制

